

パチンコ・パチスロ依存問題の予防と解決に取り組む事業・研究への支援

「依存症回復と啓発のための社会貢献」事業

新成人を読者対象とする啓発冊子の作成と 依存症回復支援活動を併行して実施する

依存症は誰もがなる可能性があり、早期介入や適切な支援によって回復が可能である。そうした情報を若年から知ることが、依存症の予防や増加を防ぐことにつながる。また、啓発活動と併せて、民間団体が依存症の回復支援を継続的に行うことは、支援者不足が社会的な課題となっているなかで、地域社会にとっても有益な活動となる。



新成人を対象とする啓発冊子「18歳青年オリエンテーションBOOK」

依存症回復支援のカウンセリングサロンや 互助のための地域コミュニティを運営する

2022年9月に設立された一般社団法人「リカバリーライフ」は、兵庫県宝塚市に拠点を置き、依存症当事者、その家族、関係者などが心おだやかに社会と関わる生活をするための支援をしている。また、様々な立場の人々に依存症を知ってもらい、お互いに助け合うための新しい交流やきっかけづくりに取り組んでいる。

主な活動としては、アルコール依存、薬物依存、ギャンブル依存、摂食障害、対人依存、自傷行為、インターネット依存、ゲーム依存、買いもの依存などのほか、様々な重複症状で生きづらさを感じている方を対象に、依存症回復支援サービスとして、依存症専門「ひだまりカウンセリングサロン」の運営、代替療法「ゴスレク」の企画提供を行うほか、それらに付随する地域福祉サービスとして、地域

コミュニティー「ゴスペルPLAZA」の運営、依存症予防啓発などを実施している。

今日、何らかの依存症状態で生きづらさを抱えている方は国内に1,000万人以上いるとされているが、具体的な支援を受けている方は1割程度と言われている。また、依存症が金銭の借入、児童虐待、暴力、引きこもり、離婚、失業などの問題と関連していることが多いため、長期的な個別支援が重要である。こうした課題は3年以上に及ぶ新型コロナウイルス禍を経て、ますます緊急性を伴うものになっている反面、支援者不足が問題視されている。

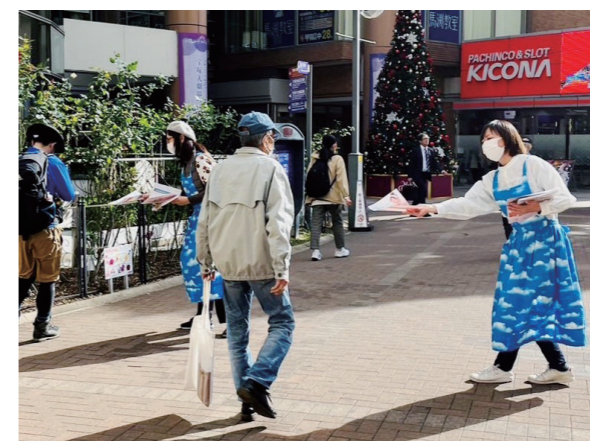
リカバリーライフでは、既存の医療福祉制度では着手することが難しい部分を的確に補う民間活動が地域にとって有益ではないかという認識の下、POSCと兵庫県遊技業協同組合の共同助成を活用し、オリジナルの啓発冊子を企画制作することにした。

新成人を対象とする啓発冊子の作成と 依存症回復支援事業を併せて実施

『18歳成年オリエンテーションBOOK』と題された啓発冊子は、タイトルからもわかるように、新成人を迎える若者を主な読者対象とするもので、18歳成年の法改正についての解説、依存の有無や具体的内容に関するアンケート結果、ギャンブル等ほか金融商品・アルコール酒類・薬物についての注意喚起、ひだまりカウンセリングサロンの紹介などの記事から構成されている。

内容調整、デザイン、情報調査、校正などを経て完成した冊子を配布完了するまで、全体の工程は約1年間に及んだ。同法人では、兵庫県を中心とした109校の高等学校へ啓発冊子について案内し、46校にサンプル提供、9校に教材として導入・活用してもらい、全体では10,000名の高校生に配布した。

また、啓発冊子の作成と併せ、依存症相談窓口と連携体制づくりを柱とする依存症回復支援事業を並行実施し、50名に初期相談対応（単発、長期を含む）を行ったほか、



リカバリーライフでは依存症専門「ひだまりカウンセリングサロン」の運営、代替療法「ゴスレク」の企画提供を行うほか、それらに付随する地域福祉サービスや依存症予防啓発なども実施

25,000名に対して依存症予防と早期支援の大切さを呼びかける活動を実施した。

こうした活動を通じ、同法人としては、医療制度外支援に対する裏付けと信頼性確立の難しさを実感した。依存症の特性として、回復過程において依存症であることを否認する傾向や、自然治癒力より進行性の疾病である影響が勝ることなど、要支援者への支援継続の難しさに直面するとともに、要支援者の家族や支援機関からの協力を得ることの難しさもあった。それらの困難に対して、匿名でも長期的な個別支援が可能なLINEメッセージによるサポートや、他機関への活動周知・連携の呼びかけを実施するなどの改善を試みながら、事業推進を行った。

兵庫県遊技業協同組合より

パチンコ・パチスロ依存（のめり込み）問題に真摯に取り組む、依存症回復支援活動団体を支援し、社会貢献活動等の一層の充実を図ってまいります。



助成団体：一般社団法人 リカバリーライフ

<https://rec-life.jp/>



依存症支援は、かけがえのない一人ひとりの命を守る活動

依存症回復支援活動に対して、多大なるご理解とご支援を賜わり、さらには温かく見守り、時には励ましの声を掛けていただいたおかげで、心強く歩ませていただきました。資金面はもちろんのこと、この事業を応援していただいていることを実感しながら、「依存症からの回復が必要な方へ皆様からのご支援を届ける役割」を果たすことができました。

一般社団法人 リカバリーライフ
代表理事 伊藤 まさみさん